

治山施設
台帳情報データベース化 資料（案）

第 1.0 版

令和 4 年 3 月
林野庁国有林野部業務課

【改訂履歴】

版	更新日	改訂内容
第 1.0 版	2022 年 3 月	初版

目次

1. はじめに	1
2. 治山データベースの仕様	2
2.1. データベース構造	2
2.2. テーブルの概要	3
2.2.1. 治山台帳テーブル	3
2.2.2. 費用テーブル	11
2.2.3. 工事内容テーブル	13

1. はじめに

本マニュアルは、林野庁 治山台帳のデータベースを作成するためのデータベース構造を示した資料である。

2.2. テーブルの概要

2.2.1. 治山台帳テーブル

治山台帳テーブルは、現行の治山台帳（下図例）に記載されている「事業名」、「位置」、などの項目を中心に構成する。

(様式-2)
工事台帳

津 軽 森 林 管 理 署 台帳番号 2-3

瑞穂 治山工事 事業細区分 復旧治山 新設・補修 新 設 区分 経常(臨時・特別)

位置	青森県 弘前市 大字 常盤野 字	見取図		
位置	国有林 25 林班 I12 小班 外			
流域	大分館流域 基幹流域 支流域 単位流域 沢			
流域	岩木川 岩木川中流 岩木山地区 岳地区 小倉沢			
実施	工事着手年月日 工事完成年月日 施工面積 338 ha 受益者 弘前建設株式会社			
執行	P9.8.19 P9.12.9 代表取締役 松下 寛			
監督員	農林水産技官 水元 剛太 農林水産技官 北林 昭彦			
工事内容	工 種 数量 単位 単価 金額 備 考 コンクリート谷止工 1.00 基 円 円 39,490,000 円 計 39,490,000 円			
工事年度	年度 年度 年度 年度 年度 年度 年度 年度 (参考)	種 別		施工地の概略等
調査費	円 円 円 円 円 円 円 円	保安林種 水かん 渓床勾配 8~14 %		近年の大雨等で渓床浸食等により、渓床には不安定土砂の堆積がみられ、今後の大雨等で、甚なる浸食浸食及び不安定土砂の流出により、下流域の保全対象に被害を及ぼす恐れがあることから、当該工事では、山腹の陥没及び根幹浸食の防止を目的としたコンクリート谷止工を施工した。
直営費	円 円 円 円 円 円 円 円	指定年月日 S48.3.29 深 幅 3~5 m		
委託費	円 円 円 円 円 円 円 円	指示年月日 S48.3.29 計画勾配 5.0 %		
工事費	円 円 円 円 円 円 円 円	災害名 災害年度 伐採前状況	〇山地災害危険地区；土砂流出危険地区A[202 8]	
計	円 円 円 円 円 円 円 円	地 質 火山岩類		
工事概 要		土 壌 粘土質砂壤土		

図 2.2.1-1 治山台帳（帳簿）の例

治山台帳テーブルの構造（テーブル定義）は、下表のとおり。

治山台帳テーブルのテーブル定義

項目名	主キー	必須項目	データ型	入力形式	備考
新台帳番号	●	●	数値型		
予算年度 元号		●	文字型	漢字二文字	
予算年度 年		●	数値型	数値入力	
完成年度 元号			文字型	漢字二文字	
完成年度 年			数値型	数値入力	
直轄事業			文字型	国有林直轄治山事業・民有林直轄事業・国有林内補助治山事業などを入力	
工事名称		○	文字型	自由入力	
歳出科目			文字型	自由入力	
森林管理局名		●	数値型	コード値入力	森林管理局コード
管轄森林管理(支)署名			文字型	自由入力	
台帳番号			文字型	自由入力	
大分類流域		○	文字型	自由入力	
基幹流域			文字型	自由入力	
支流域			文字型	自由入力	
単位流域			文字型	自由入力	
沢名			文字型	自由入力	
都道府県		○	数値型	コード値入力	総務省全国地方公共団体コード
市町村		○	文字型	自由入力	
大字			文字型	自由入力	
字			文字型	自由入力	
地番			文字型	自由入力	
国有林名		○	文字型	自由入力	
林班		○	文字型	自由入力	
小班			文字型	自由入力	
施工面積			数値型	数値入力(単位:ha)	
工事着手年月日 元号			文字型	漢字二文字	
工事着手年月日 年			数値型	数値入力	
工事着手年月日 月			数値型	数値入力	
工事着手年月日 日			数値型	数値入力	
完成年月日 元号			文字型	漢字二文字	
完成年月日 年			数値型	数値入力	
完成年月日 月			数値型	数値入力	
完成年月日 日			数値型	数値入力	
検査年月日 元号			文字型	漢字二文字	
検査年月日 年			数値型	数値入力	
検査年月日 月			数値型	数値入力	
検査年月日 日			数値型	数値入力	

治山台帳テーブルのテーブル定義 続き

項目名	主キー	重要項目	入力形式	備考
監督員 種別			文字型 自由入力	
監督員 氏名			文字型 自由入力	
検査員 種別			文字型 自由入力	
検査員 氏名			文字型 自由入力	
請負人 住所			文字型 自由入力	
請負人 社名			文字型 自由入力	
請負人 役職			文字型 自由入力	
請負人 代表者名			文字型 自由入力	
保安林種1			数値型 コード値入力	保安林種コード
指定年月日(保安林種1)			日付型 半角 9999/99/99形式	
告示年月日(保安林種1)			日付型 半角 9999/99/99形式	
公示番号(保安林種1)			文字型 自由入力	
保安林種2			数値型 コード値入力	保安林種コード
指定年月日(保安林種2)			日付型 半角 9999/99/99形式	
告示年月日(保安林種2)			日付型 半角 9999/99/99形式	
公示番号(保安林種2)			文字型 自由入力	
保安林種3			数値型 コード値入力	保安林種コード
指定年月日(保安林種3)			日付型 半角 9999/99/99形式	
告示年月日(保安林種3)			日付型 半角 9999/99/99形式	
公示番号(保安林種3)			文字型 自由入力	
地質			数値型 コード値入力	地質コード
地質(備考)			文字型 自由入力	
土壌			数値型 コード値入力	土壌コード
土壌(備考)			文字型 自由入力	
傾斜			数値型 コード値入力	傾斜コード
傾斜(備考)			文字型 自由入力	
計画勾配			数値型 数値入力(単位:%)	
計画勾配(備考)			文字型 自由入力	
溪床勾配			数値型 数値入力(単位:%)	
溪床勾配(備考)			文字型 自由入力	
溪巾			数値型 数値入力(単位:m)	
溪巾(備考)			文字型 自由入力	
伐採年度			文字型 自由入力	
伐採前林況			文字型 自由入力	
地すべり防止区域名			文字型 自由入力	
指定年月日(地すべり防止区域)			日付型 半角 9999/99/99形式	
告示年月日(地すべり防止区域)			日付型 半角 9999/99/99形式	
公示番号(地すべり防止区域)			文字型 自由入力	
工事概要			文字型 自由入力	
施工理由			文字型 自由入力	

◇ 必須項目について●・○の対応は次のとおり。

●	必須項目 (台帳に記載がない場合は、担当者に確認を行い、入力すること)
○	テーブルの中で重要性が高く、入力が望まれる項目 (台帳に記載がない場合は、空欄でも問題ない。)

◇ 年月日の入力形式について

本仕様では、工事着手年月日、完成年月日、検査年月日の入力を元号・年・月・日を分けた項目としているが、これは「日付だけ無記入」などの台帳に対応するための仕様であり、今後の状況に応じた仕様変更は問題ない。

ア) 新台帳番号

新台帳番号は、製品仕様書に準じて作成される治山施設（GIS データ）と同じ番号を附番し、GIS データと紐づくこととする。

イ) 予算年度 元号・予算年度 年

予算年度には、該当治山施設の予算が措置された年度を記入する。元号は漢字 2 文字とする。

元号
明治
大正
昭和
平成
令和

ウ) 完成年度 元号・完成年度 年

治山施設の完成年度を記入する。元号は漢字 2 文字とする。

元号
明治
大正
昭和
平成
令和

エ) 直轄事業

「国有林直轄治山事業」・「国有林治山事業」・「民有林直轄事業」・「国有林内補助治山事業」などを記入する。

オ) 工事名称

台帳に記載されている工事名称を記入する。

カ) 歳出科目

台帳に記載されている歳出科目事業名（例：「復旧治山」、「予防治山」など）を入力。

キ) 森林管理局

台帳を管理する森林管理局のコード値を記入する。コード表は下表のとおり。

森林管理局コード

コード	名称	略称
100	北海道森林管理局	北海道
200	東北森林管理局	東北
300	関東森林管理局	関東
400	中部森林管理局	中部
500	近畿中国森林管理局	近畿中国
600	四国森林管理局	四国
700	九州森林管理局	九州

ク) 管轄森林管理（支）署名

台帳を管理する森林管理署名を記入する。

ケ) 台帳番号

台帳に記載されている、台帳番号を記入する。

コ) 大分類流域・基幹流域・支流域・単位流域・沢名

台帳に記載されている、流域情報を記入する。

サ) 都道府県・市町村・大字・字・地番

台帳に記載されている、所在場所を記入する。都道府県はコード表「総務省全国地方公共団体コード」の上2桁を用いる。

市町村において、台帳によっては旧市町村名を記入している場合があるが、この場合、市町村名は更新せずに、台帳に記載があるとおりに入力する。

森林の所在が大字名と地番で明確になる場合は字名を、逆に字名と地番で明確になる場合は大字名を、それぞれ空白としても構わない。

シ) 国有林名・林班・小班

台帳に記載されている、国有林名、林班は林班番号（例：「201」、「30-2」など）、小班名称（例：「い」、「ろ1」）を記入する。

ス) 施工面積

台帳に記載されている施工面積を記入する。

セ) 工事着手年月日 元号～検査年月日 日

台帳に記載されている工事着手年月日、完成年月日、検査年月日を記入する。元号は漢字2文字とする。年・月・日は、数値で入力すること。不明な場合は、一部空白を可とする。

元号
明治
大正
昭和
平成
令和

ソ) 監督員 種別～検査員 氏名

台帳に記載されている当該治山施設の施工時における監督員と検査員の情報を入力する。

タ) 請負人 住所～請負人 代表者名

台帳に記載されている当該治山施設の工事請負人の情報を入力する。

チ) 保安林種 1～公示番号(保安林種 3)

台帳に記載されている保安林情報を入力する。データベース化できる保安林種は 3 つまでとする。保安林種 1～3 は、コード値(数値)入力とし、下表のとおり。保安林種コードは、現在国有林野情報管理システムにて運用されているものである。

保安林種コード

コード値	内容	コード値	内容
0	該当外	4201	水源かん養保安林見込み地
4001	水源かん養保安林	4202	土砂流出防備保安林見込み地
4002	土砂流出防備保安林	4203	土砂崩壊防備保安林見込み地
4003	土砂崩壊防備保安林	4204	飛砂防備保安林見込み地
4004	飛砂防備保安林	4205	防風保安林見込み地
4005	防風保安林	4206	水害防備保安林見込み地
4006	水害防備保安林	4207	潮害防備保安林見込み地
4007	潮害防備保安林	4208	干害防備保安林見込み地
4008	干害防備保安林	4209	防雪保安林見込み地
4009	防雪保安林	4210	防霧保安林見込み地
4010	防霧保安林	4211	なだれ防止保安林見込み地
4011	なだれ防止保安林	4212	落石防止保安林見込み地
4012	落石防止保安林	4213	防火保安林見込み地
4013	防火保安林	4214	魚つき保安林見込み地
4014	魚つき保安林	4215	航行目標保安林見込み地
4015	航行目標保安林	4216	保健保安林見込み地
4016	保健保安林	4217	風致保安林見込み地
4017	風致保安林		

ツ) 地質・地質(備考)

台帳に記載されている地質情報を入力する。「地質」の項目は、コード値(数値)にて入力する。コード表は下表のとおり。地質コードは、現在国有林野情報管理システムにて運用されているものである。下記のコード表に該当しない場合、複数の地質情報が台帳に記載されている場合は、その内容を「地質(備考)」の項目に記入する。

地質コード

コード値	内容	コード値	内容	コード値	内容
0	該当外	159	中生層硬質礫岩	389	その他流紋岩
100	水成岩(堆積岩)	160	中生層珪岩	390	安山岩(類)
110	沖積層	161	中生層赤色珪岩	391	輝石安山岩
111	沖積層粘土	169	その他中生層	392	両(複)輝石安山岩
112	沖積層砂	170	古生層	393	角閃安山岩
113	沖積層礫	171	古生層頁岩	394	石英安山岩
114	沖積層砂礫	172	古生層硬質頁岩	395	変朽安山岩
119	その他沖積層	173	古生層粘板岩	399	その他安山岩
120	洪積層	174	古生層珪岩(チャート)	400	玄武岩
121	洪積層粘土	175	古生層硬砂岩	410	集塊岩
122	洪積層砂	176	古生層粗粒砂岩	420	熔結凝灰岩
123	洪積層礫	177	古生層細中粒砂岩	430	火山灰砂
124	洪積層砂礫	178	古生層礫岩	440	火山軽石
129	その他洪積層	179	古生層硬質礫岩	450	火山泥流
130	新第3紀層	180	古生層珪岩	460	火山灰
131	新第3紀層頁岩	181	古生層赤色珪岩	470	火山岩屑
132	新第3紀層砂岩	189	その他古生層	490	その他火成岩
133	新第3紀層凝灰岩(グリーンタフ)	190	石灰岩	500	変成岩
134	新第3紀層礫岩	200	輝緑凝灰岩	510	ホルンフェルス
135	新第3紀層泥岩	290	その他水成岩	520	結晶片岩
136	新第3紀層シルト岩	300	火成岩	521	絹雲母片岩
139	その他新第3紀層	310	花崗岩	522	雲母片岩
140	古第3紀層	311	微花崗岩	529	その他結晶片岩
141	古第3紀層頁岩	312	黒雲母花崗岩	530	黒色片岩(類)
142	古第3紀層砂岩	313	閃雲花崗岩	531	千枚岩
143	古第3紀層凝灰岩(グリーンタフ)	319	その他花崗岩	532	石墨片岩
144	古第3紀層礫岩	320	閃緑岩	539	その他黒色片岩
145	古第3紀層泥岩	321	石英閃緑岩	540	緑色片岩(類)
146	古第3紀層シルト岩	322	花崗閃緑岩	541	緑泥片岩
149	その他古第3紀層	329	その他閃緑岩	542	角閃片岩
150	中生層	330	斑れい岩	543	角閃岩
151	中生層頁岩	340	かんらん岩	549	その他緑色片岩
152	中生層硬質頁岩	350	斑岩	550	片麻岩(類)
153	中生層粘板岩	351	石英粗岩	551	花崗片麻岩
154	中生層珪岩(チャート)	359	その他斑岩	552	角閃片麻岩
155	中生層硬砂岩	360	ひん岩	559	その他片麻岩
156	中生層粗粒砂岩	370	石英粗面岩	560	蛇紋岩
157	中生層細中粒砂岩	380	流紋岩	590	その他変成岩
158	中生層礫岩	381	斜長流紋岩	900	その他

テ) 土壌・土壌（備考）

台帳に記載されている土壌情報を入力する。「土壌」の項目は、コード値（数値）にて入力する。コード表は下表のとおり。土壌コードは、現在国有林野情報管理システムにて運用されているものである。下記のコード表に該当しない場合、複数の地質情報が台帳に記載されている場合は、その内容を「土壌（備考）」の項目に記入する。

土壌コード

コード値	内容	コード値	内容	コード値	内容
0	該当外	344	適潤性黄色系褐色森林土	512	乾性淡黒色土（粒状・堅果状構造型）
100	乾性ボドゾル	345	弱潤性黄色系褐色森林土	513	弱乾性淡黒色土
101	乾性ボドゾル（Ⅰ）	347	適潤性黄色系褐色森林土（偏乾亜型）	514	適潤性淡黒色土
102	乾性ボドゾル化土壌	350	表層グライ化褐色森林土	515	弱潤性淡黒色土
103	乾性弱ボドゾル化土壌	352	乾性表層グライ化褐色森林土（粒状・堅果状構造型）	516	湿性淡黒色土
200	湿性ボドゾル	353	弱乾性表層グライ化褐色森林土	517	適潤性淡黒色土（偏乾亜型）
211	湿性鉄型ボドゾル	354	適潤性表層グライ化褐色森林土	600	グライ
212	湿性鉄型ボドゾル化土壌	355	弱潤性表層グライ化褐色森林土	601	疑似グライ
213	湿性鉄型弱ボドゾル化土壌	357	適潤性表層グライ化褐色森林土（偏乾亜型）	602	グライボドゾル
221	湿性腐植型ボドゾル	400	赤・黄色土	700	泥炭土
222	湿性腐植型ボドゾル化土壌	410	赤色土	701	黒泥土
223	湿性腐植型弱ボドゾル化土壌	411	乾性赤色土（細粒状構造型）	702	泥炭ボドゾル
300	褐色森林土	412	乾性赤色土（粒状・堅果状構造型）	800	未熟土
301	乾性褐色森林土（細粒状構造型）	413	弱乾性赤色土	801	未熟土（Im-D）
302	乾性褐色森林土（粒状・堅果状構造型）	414	適潤性赤色土	802	未熟土（Im-s）
303	弱乾性褐色森林土	417	適潤性赤色土（偏乾亜型）	803	未熟土（Im-Cl）
304	適潤性褐色森林土	420	黄色土	810	受蝕土
305	弱潤性褐色森林土	421	乾性黄色土（細粒状構造型）	900	暗赤色土
306	湿性褐色森林土	422	乾性黄色土（粒状・堅果状構造型）	910	塩基系暗赤色土
307	適潤性褐色森林土（偏乾亜型）	423	弱乾性黄色土	911	乾性塩基系暗赤色土（細粒状構造型）
308	適潤性褐色森林土（かべ状）	424	適潤性黄色土	912	乾性塩基系暗赤色土（粒状・堅果状構造型）
309	弱潤性褐色森林土（かべ状）	425	弱潤性黄色土	913	弱乾性塩基系暗赤色土
310	適潤性褐色森林土（comp）	427	適潤性黄色土（偏乾亜型）	914	適潤性塩基系暗赤色土
311	適潤性褐色森林土（Im-vs）	430	表層グライ系赤・黄色土	915	弱潤性塩基系暗赤色土
320	暗色系褐色森林土	431	表層グライ化赤・黄色土	917	適潤性塩基系暗赤色土（偏乾亜型）
324	適潤性暗色系褐色森林土	432	弱表層グライ化赤・黄色土	920	非塩基系暗赤色土
325	弱潤性暗色系褐色森林土	433	表層グライ灰白化赤・黄色土	921	乾性非塩基系暗赤色土（細粒状構造型）
327	適潤性暗色系褐色森林土（偏乾亜型）	434	弱表層グライ灰白化赤・黄色土	922	乾性非塩基系暗赤色土（粒状・堅果状構造型）
330	赤色系褐色森林土	500	黒色土	923	弱乾性非塩基系暗赤色土
331	乾性赤色系褐色森林土（細粒状構造型）	502	乾性黒色土（粒状・堅果状構造型）	924	適潤性非塩基系暗赤色土
332	乾性赤色系褐色森林土（粒状・堅果状構造型）	503	弱乾性黒色土	925	弱潤性非塩基系暗赤色土
333	弱乾性赤色系褐色森林土	504	適潤性黒色土	927	適潤性非塩基系暗赤色土（偏乾亜型）
334	適潤性赤色系褐色森林土	505	弱潤性黒色土	930	火山系暗赤色土
337	適潤性赤色系褐色森林土（偏乾亜型）	506	湿性黒色土	931	乾性火山系暗赤色土（細粒状構造型）
340	黄色系褐色森林土	507	適潤性黒色土（偏乾亜型）	932	乾性火山系暗赤色土（粒状・堅果状構造型）
341	乾性黄色系褐色森林土（細粒状構造型）	508	適潤性黒色土（かべ状）	933	弱乾性火山系暗赤色土
342	乾性黄色系褐色森林土（粒状・堅果状構造型）	509	弱潤性黒色土（かべ状）	934	適潤性火山系暗赤色土
343	弱乾性黄色系褐色森林土	510	淡黒色土	935	弱潤性火山系暗赤色土
				937	適潤性火山系暗赤色土（偏乾亜型）

ト) 傾斜・傾斜（備考）

台帳に記載されている傾斜情報を入力する。「傾斜」の項目は、コード値（数値）にて入力する。コード表は下表のとおり。傾斜コードは、現在国有林野情報管理システムにて運用されているものである。下記のコード表に該当しない場合、複数の地質情報が台帳に記載されている場合は、その内容を「傾斜（備考）」の項目に記入する。

傾斜コード

コード値	内容
0	該当外
10	平
11	0.5°未満
20	緩
21	0.5°～10°未満
22	10°～15°未満
30	中
31	15°～20°未満
32	20°～25°未満
33	25°～30°未満
40	急
41	30°～35°未満
42	35°～40°未満
43	40°～45°未満
44	45°以上

ナ) 計画勾配・計画勾配（備考）・溪床勾配・溪床勾配（備考）・溪巾・溪巾（備考）

台帳に記載されている計画勾配・溪床勾配・溪巾を記入する。記載された計画勾配、溪床勾配、溪巾が、数値で入力できない内容であった場合（例：「20～40」、「～25」）、その内容は、それぞれ「計画勾配（備考）」、「溪床勾配（備考）」、「溪巾・溪巾（備考）」の項目に記入する。

ニ) 伐採年度・伐採前林況

台帳に記載されている伐採年度・伐採前林況を記入する。伐採年度の入力は、「平成 19」、「昭和 23」というように年度は省略して入力する。

ヌ) 地すべり防止区域名～公示番号（地すべり防止区域）

台帳に記載されている地すべり防止区域に関する情報を記入する。

ネ) 工事概要

台帳に記載されている工事概要を記入する。

ノ) 施工理由

台帳に記載されている施工理由を記入する。

2.2.2. 費用テーブル

費用テーブルは、現行の台帳の備考欄に記載のある「工事の請負費」を登録する。

一 般 官 理 費		1.00	式		11,085,000	 昭和の森天城	
計					78,973,000		
消 費 税 相 当 額		10.00	%		7,897,300		
総 計					86,870,300		
(工 事 経 過)							(参
請 負 費							保
直 営 費						保安林種	
支 給 材 料 経 費						指定年月日	
計						告示年月日	

工事概要

図 2.2.2-1 治山台帳（帳簿）における「工事の請負費」記載例 1

計						39,490,000 円						
(工事経過)	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	(参考)		傾 斜	-	施工地の概要等
請 負 費	円	円	円	円	円	円	円	保安林種	水かん	渓床勾配	8～14 %	近年の大雨等で渓岸浸食等により、渓床には不安定土砂の堆積がみられ、今後の大雨等で、更なる渓岸浸食及び不安定土砂の流出により、下流域の保全対象に被害を与える恐れがあることから、当該工事では、山脚の固定及び縦横浸食の防止を目的としたコンクリート谷止工を施工した。
直 営 費	円	円	円	円	円	円	円	指定年月日	S46.3.29	渓 幅	3～5 m	
支給材料費	円	円	円	円	円	円	円	告示年月日	S46.3.29	計画勾配	5.0 %	
工事雑費	円	円	円	円	円	円	円					
計	円	円	円	円	円	円	円	災害名	-	伐採年度	-	○山地災害危険地区： 土砂流出危険地区A[202-8]
	円	円	円	円	円	円	円	災害年度	-	伐採前林況	-	
工 事 概 要								地 質	火山岩屑			
								土 壤	乾性褐色森林土			

図 2.2.2-2 治山台帳（帳簿）における「工事の請負費」記載例 2

費用テーブルの構造（テーブル定義）は、下表のとおり。

費用テーブルのテーブル定義

項目名	主キー	重要項目		入力形式	備考
新台帳番号	●	●	数値型		
費用No.	●		数値型	数値入力	
元号(費用)			文字型	漢字二文字	
年度(費用)			数値型	数値入力(単位:年度)	
請負費		○	数値型	数値入力(単位:円)	

☆ 必須項目について●・○の対応は次のとおり。

●	必須項目 (台帳に記載がない場合は、担当者に確認を行い、入力すること)
○	テーブルの中で重要性が高く、入力が望まれる項目 (台帳に記載がない場合は、空欄でも問題ない。)

ア) 新台帳番号

治山台帳テーブルの新台帳番号と同じ番号を入力する。

イ) 費用 No.

費用の記載順に 1 から番号を附番する。

ウ) 元号（費用）・年度（費用）

台帳に請負費とともに記載されている発注年度を記入する。元号は漢字 2 文字とする。

元号
明治
大正
昭和
平成
令和

エ) 請負費

台帳に記載されている請負費を入力する。

2.2.3. 工事内容テーブル

工事内容テーブルは、現行の治山台帳に記載のある「工事内容に関する事項」を登録する。

工 種	数 量	単 位	金 額
第20号コンクリート床固工事	635.3	m3	
コンクリート	635.3	m3	22,685,947
型枠A	210.9	m2	4,939,453
型枠I(割石)	180.0	m2	2,824,305
型枠J	182.2	m2	4,506,046
型枠F	15.3	m2	187,310
硬質土掘削	1387.0	m3	1,553,953
人力掘削面整形(普)	139.0	m2	105,944
タンバ締固め	139.0	m2	239,968
間詰コンクリートA	5.9	m3	234,921
型枠G	18.7	m2	205,635
止水板設置	1.0	式	183,650
水抜	1.0	式	147,596
堤名板取付(G型)(普)	1.0	枚	215,162
治山シンボルマーク取付(普)	1.0	枚	76,176
木製ブロック筋工	20.6	m2	737,008
植栽工	139.0	本	66,539
小計			43,609,613
			0
仮設費	1.0	式	
キャットウォーク足場設置撤去(普)	298.0	m	1,132,124
給水施設設置	1.0	式	56,466
水運搬費	1.0	台	8,487
草刈機伐間(2種)(共通)	92.2	m2	10,015
小計			1,207,092
その他費用	1.0	式	
産業廃棄物処理費(倒木)	1.8	m3	18,333
小計			18,333
間接工事費・共通仮設費			
土石流安全対策費	1.0	式	241,636
土石流監視員	5.0	日	133,680
土砂運搬工B	1250.0	m3	8,003,858
産業廃棄物運搬工	1.8	m3	4,629
仮設トイレ賃料	5.0	月	231,314
定率現場環境改善費	1.0	式	577,160
定率共通仮設費	1.0	式	6,472,685
小計			15,664,962
計			60,500,000

図 2.2.3-1 治山台帳（帳簿）における「工事内容に関する事項」記載例 1

(工 事 内 容)						
工 種	種 別	数 量	単 位	単 価	金 額	
溪間工	1号谷止工	18.97	t			
溪間工	3号谷止工	20.60	t			
山腹工	1号谷土留工	3.49	t			
山腹工	2号土留工	5.00	t			
山腹工		0.1	ha			
計						56,916,000
(別紙数量内訳書のとおり)						
(工事経過)	年度	年度	年度	年度	参 考	
請負費					保安林	保安林種
工事雑費						指定年月日
支給材料経費						告示年月日
直営費						
計						
工事概要						

図 2.2.3-2 治山台帳（帳簿）における「工事内容に関する事項」記載例 2

工事内容テーブルの構造（テーブル定義）は、下表のとおり。

工事内容テーブルのテーブル定義

項目名	主キー	重要項目	データ型	入力形式	備考
新台帳番号	●	●	数値型		
工事内容No.	●		数値型	数値入力	
元号(工事内容)			文字型	漢字二文字	
年度(工事内容)			数値型	数値入力(単位:年度)	
区分			文字型	新規・改修などを記入	
工事区分			文字型	自由入力	
工種			文字型	自由入力	
種別			文字型	自由入力	
数量			数値型	数値入力	
単位			文字型	自由入力	
単価(円)			数値型	数値入力(単位:円)	
金額(円)			数値型	数値入力(単位:円)	
L(長さ)			数値型	数値入力	
長さ単位			文字型	自由入力	
H(高さ)			数値型	数値入力	
高さ単位			文字型	自由入力	
b(幅)			数値型	数値入力	
幅単位			文字型	自由入力	
V(体積)			数値型	数値入力	
体積単位			文字型	自由入力	
備考			文字型	自由入力	

◇ 必須項目について●・○の対応は次のとおり。

●	必須項目 (台帳に記載がない場合は、担当者に確認を行い、入力すること)
○	テーブルの中で重要性が高く、入力が望まれる項目 (台帳に記載がない場合は、空欄でも問題ない。)

ア) 新台帳番号

台帳ごとに、治山台帳の新台帳番号と同じ番号を入力する。

イ) 工事内容 No.

費用の記載順に 1 から番号を附番する。

ウ) 元号(工事内容)・年度(工事内容)

台帳に記載されている発注年度を記載。元号は漢字 2 文字とする。

元号
明治
大正
昭和
平成
令和

エ) 区分

台帳に記載されている区分、「新規」「改修」などを記入する。

オ) 工事区分・工種・種別

それぞれ台帳に記載されている以下の内容を記入する。

工事区分：溪間工、山腹工などを入力

工種：えん堤工、床固工、土留工、水路工などを入力

種別：材料を入力

カ) 数量・単位・単価（円）・金額（円）

台帳に記載されている、数量・単位・単価・金額を入力する。山腹工等、工事区分の面積を管理したい場合は、工種・種別を空白にし、面積のみ入力する。

キ) L （長さ）・長さ_単位・ H （高さ）・高さ_単位・ b （幅）・幅_単位・ V （体積）・体積_単位

台帳に記載されている種別の長さ・高さ・幅・体積の情報を入力する。

ク) 備考

工事内容にあたり、補足の記載が必要な場合、その内容を記入する。